

研究ノート

斎藤喜博をめぐる文献リストと主要文献解題改訂版

久保田 武¹

筆者は、日本教育大学院大学紀要第 1 号（2008 年）に「斎藤喜博をめぐる文献リスト作成と主要文献解題」（以後初版と表記）を研究ノートとして掲載した。しかし、その後筆者が未知の文献や新しい重要文献の存在を知りその改訂版を出す必要を感じたので、大学紀要第 5 号 2012 年版に改訂版を掲載することにした。文献リスト作成の目的とねらいは第 1 号に掲載したので、今回は改訂部分の説明にとどめることとする。

斎藤をめぐる文献数は膨大で、初めて斎藤を読もうとする教師、研究者、その他の人々のために、初版では 10 の解題文献を用意していたが、今回はその一部を入れ替え、解題の紹介文をできるだけ簡潔にした。

次に斎藤が単行本以外に書いた文献を、「斎藤喜博全集 15-2」の年譜に整理されている執筆活動欄に基づき作成した。その結果、彼の執筆活動は 23 歳に始まっているので、彼自身が執筆した掲載文献数は初版に比べ飛躍的に増え、その分初版に掲載した斎藤本人以外の方々が書いた関連文献を大幅に割愛せざるを得なくなった。初期の掲載文は、斎藤の生涯活動の推移を知る上で必要な資料と考え、たとえ教育学に関係がない文も掲載することにした。但しケノクニの編集所便と初版に掲載した学生の斎藤喜博観は割愛した。

斎藤が若い時代からの執筆の変遷を通観すると、彼が教育界を代表するマスメディアの寵児になる経緯が分かる。「ローマは 1 日にして成らず」は斎藤にも言える。彼は大変な記録魔であった。帯や序文、推薦文に至るまで記録されている。精神病医学者クレッチマーに従えば固執傾向が異常に強い粘着質性格と言えよう。しかし文献リスト作成者にとっては、この上もない貴重な資料を残してくれたと感謝している。

残念だったことは、「第二期斎藤喜博全集 12」の年譜に掲載されている 1971 年 8 月以後の年譜には、このように詳細な執筆記録は掲載されていない。全集に掲載されている執筆文のみ記録されている。この部分については、筆者が資料を探し、見つけたら後日復元したいと考えている。早ければ、この抜刷に折り込みで挿入したい。

最後に文献リスト作成にあたり、資料を提供していただいた斎藤草子（一莖書房）、栗原知彦（境島村）に御礼申し上げる。またリストに間違い等あればお教え頂きたいようお願いする次第である。

キーワード：斎藤喜博、伊勢崎市境島村、群馬県佐波郡玉村町、島小学校、境小学校、斎藤喜博関係文献リスト

1 日本教育大学院大学 学校教育研究科

I 斎藤喜博本人の著書・編著・共著等原則単行本（無印は単独著書）

「斎藤喜博全集 第1期 全18巻」 国土社	1969~1971
1. 教室愛・教室記	1969
2. 「ゆずの花」とその背景・童子抄・続童子抄	1970
3. 授業以前・心の窓をひらいて	1970
4. 授業入門・未来誕生	1970
5. 教育の演出・授業	1970
6. 授業の展開・教育学のすすめ	1970
7. 私の教師論・教育現場ノート	1970
8. 一つの教師論・現代教育批判	1970
9. 教師の実践とは何か	1970
10. 教師の自由と責任	1970
11. 小さい歴史・学校づくりの記・島小物語	1970
12. 少年のころの記憶・可能性に生きる	1971
13. 授業研究	1971
14. 川ぞいの村・子どもへの物語・君の可能性・詩群	1971
15-1 表現と人生・短歌をめぐって	1971
15-2 歌集・年譜	1971
別巻1 未来につながる学力・島小の授業	1970
別巻2 教育と人間・日本の教育を考える・教育の実践と創造	1971
「斎藤喜博全集第2期 全12巻」 国土社	1983~1984
1. 授業と教材解釈・授業の可能性他	1983
2. 授業を作る仕事・教師の仕事と技術他	1984
3. 授業の解釈と批評・授業小言他	1984
4. 私の授業Ⅰ	1983
5. 私の授業Ⅱ	1983
6. 私の授業Ⅲ	1984
7. 斎藤喜博の仕事・宿場裏からⅠ	1984
8. 宿場裏からⅡ	1984
9. 宿場裏からⅢ	1984
10. 宿場裏からⅣ	1984
11. 人と自然と・玉村通信他	1984
12. 草と木と人間と・詩群・短歌選評・年譜	1984
「斎藤喜博著作集 全8巻」 麦書房	1962~64
1. 教室愛・教室記	1962
2. 童子抄・続童子抄・川ぞいの村・詩群・子どもへの物語	1962
3. 授業以前・心の窓をひらいて	1963
4. 授業入門・未来誕生・私の教師論	1963
5. 授業・授業の展開	1964
6. 歌集・歌論集	1962
7. 教育の演出・随想	1963
8. 小さい歴史・学校づくりの記・島小物語	1964

- 「教室愛」三崎書房 1941
 「ゆずの葉」文録社 1942
 「教室記」鮎書房 1943
 「童子抄」古今書房 1946
 「絵本 カヤコチャン」小学館 1946
 「川ぞいの村」宝雲社 1947
 「続童子抄」柏書房 1950
 「第一歌集『羊歯』」草木社 1951
 「第二歌集『証』」草木社 1953
 「未来につながる学力」麦書房 1958
 「学校づくりの記」国土社 1958（再版 1990）
 「写真集 未来誕生」文・斎藤喜博、撮影・川島浩 麦書房 1960 復刻版 一莖書房 1989
 「表現と人生」国土社 1960
 「授業入門」国土社 1960（1990、2006 再版）
 「第三歌集『職場』」白玉書房 1961
 「島小の授業」編 島小職員他 3 名 麦書房 1962
 「校長の指導性」明治図書 1962
 「授業」国土社 1963（1990、2006 再版）
 「授業の創造」編 明治図書 1963
 「島小の女教師」編 斎藤喜博他島小職員 6 名 明治図書 1963
 「教育の演出」明治図書 1963
 「教育現場ノート」明治図書 1963
 「私の教師論」麦書房 1963
 「島小物語」麦書房 1964
 「授業の展開」国土社 1964（1992、2006 再版）
 「一つの教師論」国土社 1965
 「現代教育批判」同上 1966
 「可能性に生きる」文藝春秋新社 1965
 「現代教育批判」国土社 1966
 「教育と人間」国土社 1967
 「現代の女教師 全 6 巻」編 明治図書 1967
 「教師として市民として」編 明治図書 1967
 「学級の子どもと共に」編 明治図書 1967
 「校長の良心」編 明治図書 1968
 「教師の実践とは何か」国土社 1968
 「教育学のすすめ」筑摩書房 1969
 「授業への願い」編 明治図書 1969
 「授業者の目」編 明治図書 1969
 「わたしの授業観」編 明治図書 1969
 「風と川と子どもの歌—境小・島小合唱集レコード」筑摩書房 1970

- 「君の可能性」筑摩書房 1970
「教授学研究 全10冊1～10」共編 国土社 1970～80
「教師が教師になるとき」編 国土社 1972
「開く」全30号—斎藤喜博の個人雑誌 共編 明治図書 1972
「写真集 いのち、この美しきもの」解説 斎藤喜博、撮影 川島浩 筑摩書房 1974
「境小の教師」編 明治図書 1974
「授業は教師がつくる」編 一莖書房 1975
「授業をつくる仕事」一莖書房 1975
「授業と教材解釈」一莖書房 1975 (1995再版 国土社)
「教師の資質をつくるために—教授学ゼミの記録」編 国土社 1975
「斎藤喜博対話集—このひとつのこと」一莖書房 1975
「写真集 斎藤喜博の仕事」文 斎藤喜博、撮影 川島浩 国土社 1976
「授業の可能性」一莖書房 1976
「授業小言」明治図書 1976
「教授学に学ぶ」編 明治図書 1977
「わたしの授業 第1集」一莖書房 1977、第2集～第3集 1977、第4集 1978、第5集 1979、第6集 1982
「介入授業の記録上」一莖書房 1977、同中 1977、同下 1978、続同 1978、続々同 1979
「対話 子どもの事実」筑摩書房 1978
「子どもの四季合唱曲集」共著 斎藤喜博作詞 近藤幹雄作曲 一莖書房 1979
「教師の技術と思想を学ぶ」編 明治図書 1979
「教師の仕事と技術」国土社 1979
「大空の歌」筑摩書房 1979
「人と自然と—わが庭の記」一莖書房 1980
「一つのこと 合唱曲集」編・作詞、丸山亜季他作曲 一莖書房 1980
「授業の解釈と批評」国土社 1980
「第Ⅱ期授業学研究 全4巻」共編 国土社 1981～84
「子どもの世界だ—オペレッタ合唱曲集」共著 斎藤喜博他作詞、近藤幹雄作曲 国土社 1977
「子どもの歌と表現—境小・島小合唱集 CD付」総指揮・解説 一莖書房 1995

Ⅱ 斎藤喜博本人による教育誌掲載文・研究誌掲載論文等（含編共著）

- 「漢字の負債」教育論叢 1934.2. 第31巻第2号
「分団貯金、学級貯金」教育論叢 1934.3. 第31巻3号
「病中雑記」教育論叢 1934.8・9・10・11. 31巻 1935.2・3・4・5. 32巻
「想が沸いたら直ぐ筆を執れ」佳い綴方 1934.11. 第1巻第8号
「漢字練習一覧カード」1934.12. 高崎、博文社
「農村読方教育雑感」教育論叢 1935.4. 第33巻第4号
「私達の学級生活」教育論叢 1935.6. 第33巻第6号
「読方教育における朗読について」（草原 1935.8. 第1号）
「放課後小言（1）（訓導—訓練）」教育論叢 1935.11. 同（2）（情熱—決議）1936.1. 同（3）（教え子は一発見）1936.3.
「修学旅行」教育論叢 1936.2. 第35巻第2号

- 「放課後小言 (4) 教育論叢 (訓導の幸福—親と子ども)」1936.8, 同 (5) (学級経営者—劣等生の世界) 1937.10.
 「日記をつける注意 (文話)」(佳い綴方 1937.11. 第4巻第11号
 「ひがみの矯正」教育論叢 1938.5. 第39巻第5号
 「真実の教育にあこがれて (職員—教育者)」1938.7. 第40巻第1号
 「子供の姿」教育論叢 1938.8. 第40巻第2号
 「S先生」教育論叢 1939.3. 第41巻第3号
 「盗癖児の発見」教育論叢 1939.9. 第42巻第3号
 「玉村における合科教育の実践」1939.9. 群馬県初等教育の研究会発行「総合教育の研究」
 「考えを熟させる」(文話) 佳い綴方 1939.10. 第6巻第10号
 「綴方教育者の覚悟」綴方教育 1939.11. 第14巻第11号
 「時局と子供」教育論叢 1939.12. 第42巻第6号
 「題がない」(文話)」佳い綴方 1939.12. 第6巻第12号
 「合科教育私見」(草原 1940.1. 第2号)
 「自然の子」教育論叢 1940.2. 第43巻第2号
 「お米の研究の学習記録」(草原 1940.3. 第3号)
 「率直な明朗な子供 (S子ちゃん)」教育論叢 1940.5. 第43巻第5号
 「断想 (子供—自学自習)」教育論叢 1940.6. 第43巻第6号
 「学級教育について」教育論叢 1940.7. 第44巻第1号
 「一すじの道」(草原 1940.9. 第4号)
 「子供の日記を見て」教育論叢 1940.10. 第44巻第4号
 「7年間持上がり」教育論叢 1940.12. 第44巻第6号
 「可愛い子供達」教育論叢 1941.1. 第45巻第1号
 「日記指導について」(草原 1941.5. 第6号)
 「達夫君の日記」(草原 1941.9. 第7号)
 「子供のけんか」(草原 1942.5. 第9号)
 「教育新辞典を奨む」1942.9. 群馬県教育第23巻第9号
 「心滴集を読む」群馬県教育 1942.12. 第23巻第12号
 「終刊の辞」(草原 1943.1. 第10号)
 「秋のいろいろ」少国民の友 1945.10・11 合併号第22巻第7・8号
 1946.6. 以後ケノクニ編集所便、編集後記、巻頭言、執筆文、その他短歌関連等は紙面不足で原則省略 (年譜参照)
 「万葉集上野国歌輪講 (1)」ケノクニ 1946.6 創刊号・第1巻第1号,
 「絵本『カヤコちゃん』」小学館 1946.8.
 「万葉集上野国歌輪講 (2)」ケノクニ 1946.11.
 「マキバの子供達に (1)」マキバ 1947.2・創刊号, 同 (2) 1947.4、同 (3) 1947.6、同 (4) 1947.9.
 「童話集『川ぞいの村について』」ケノクニ 1947.7・第2巻第7号
 「12月のあそび」小学1年生 1947.12. 第2巻第12号
 「1月のあそび」小学1年生 1948.1. 第3巻第10号
 「2月のあそび」小学2年生 1948.2. 第3巻第11号
 「3月のあそび」小学1年生 1948.3. 第3巻第12号
 「田螺の言葉 (1)」文化労働 1950.7. 同 (2) 1950.8. 同 (3) 1950.10. 同 (4) 1950.11.

- 「抵抗の精神」文化労働 1951.5. 第2巻第5号
「自主性」文化労働 1951.6. 第2巻第6号
「確信」文化労働 1951.7. 第2巻第7号
「ある評価」文化労働 1951.8. 第2巻第8号
「判断の仕方」文化労働 1951.9. 第2巻第9号
「教室全体が指導案」文化労働 1951.9. 第2巻第9号
「職場の封建性 序」1951.9. 職場の封建性
「證について」文化労働 1951.10. 第2巻第10号
「驚くべき文章」1951.11. 文化労働第2巻第11号
「非近代性の排除」1951.11.3. 上毛新聞
「事実による検討」文化労働 1951.12. 第2巻第12号
「学者と実践家の協力」文化労働 1952.1. 第3巻第1号
「メロデーへの反応」文化労働 1952.2. 第3巻第2号
「一つの盲点」教育 1952.3. 第5号
「家庭の封建性 序」1952.3. 家庭の封建性
「具体的な事実の発見とその解釈」文化労働 1952.4. 第3巻第4号
「われらなにをなすべきか」(座談会) 教育第6号 1952.4
「教育者からみた文化建設」文化労働 1952.7. 第3巻第7号
「創造力の育成」文化労働 1952.8. 第3巻第8号
「教育現場と封建性」教育技術臨時増刊—脱皮する日本教育 1952.9.
「個性のない優等生」1952.9.16.
「疑問を持たない先生」岩波講座「教育月報6号」1952.11.
「教師の自覚」文化労働 1952.11. 第3巻第11号
「心の窓をひいて」教育 1953.2. 第3巻第2号
「実践と説得による村人との接触」新しい教室 1953.6. 第8巻第6号
「美術教育雑感」造形パンフレット 1953.7.
座談会「これからの社会科」(海後宗臣・梅根悟・岡津守彦氏と) 教育 1953.10. 第24号
「実践による教師の自己教育」教育技術 1953.11. 第8巻第8号
座談会「家庭のしくみと家庭科のありかた」教育 1954.1. 第4巻第1号
パンフレット「子供を守る話」日教組発行 1954.2.15.
「個性的な学級経営」教育 1954.4. 第4巻第4号
「このごろの県会」朝日新聞群馬版 1954.7.7.
「サークル運動の芽生え」朝日新聞学芸欄 1954.7.9.
「この村に入って」1954.8.26. 「両親と教師のしこり」1954.9.28. 「友への手紙」1954.10.7. いずれもNHKより放送
「事件を中心にしてみた今年と来年への心がまえ」教育評論 1954.12. 第3巻第12号
「禁止」時事通信内外教育版 群馬版 1955.1.18.
座談会「第1回文化部長会」文化労働 1955.5.
「夏休みについて」文化労働 1955.7. 第5巻第2号
「子供を中心とした学校行事」教育技術 1955.9. 第10巻第6号
「職場づくりについて」文化労働 1955.9. 第5巻第4号

- 「教師間の組織」明治図書講座「学校教育」第11巻1956.5.
 「学校づくり（座談会）」教育評論1956.11. 第5巻第11号
 「卒業する子らのために」講座学校経営「新しい学校づくり6年」1957.6.28.
 「家庭と学校と子どもが一つになって」母と子1957.7. 第3巻第7号
 「学校生活の規律」講座学校経営「新しい学校づくり1年」1957.8.28.
 「職人そして芸術家」教育1957.10. 第7巻第10号
 「お点というくさをりをたちきって」（座談会）子供のしあわせ1957.11. 第19巻第11号
 「地域研究サークルの伝統」（座談会）教育評論1958.2. 第7巻第2号
 「校外生活指導」生活指導問題講座3巻「自治活動と生活指導」1958.6.
 「学校行事など」（共同研究）教育評論1958.11.
 「わたしたちの卒業式」教育1959.3.
 「父母集団が教師集団と一つになって」母と子1959.4.
 「学校づくりと校長の役割」児童心理1959.4.
 「校長さん」（座談会）子どものしあわせ1959.4.
 「校長の性格」（座談会）教育評論1959.4.
 「子どもが悪いのではない」教室の窓1959.5.
 「教師は芸術家だ」学校劇1959.5.
 「学校行事の計画と実践（9月～3月）小5教育技術付録1959.9.
 「無意味な作業と授業」教師の窓1960.4.
 「学校づくりと教師」児童心理1960.10.
 「授業のきびしさと中味」現代教育科学1960.10.
 「心の窓をひらいて」島小研究報告1960.11.20.
 「格調の高い授業」岩波講座「現代教育学」月報11号1961.7.
 「教師の教材研究は授業の基礎」現代教育科学1961.8.
 「授業の創造をめざして」現代教育科学1961.10.
 「教師として自信を持たせるために」児童心理1961.10.
 「芽をつむものを見きわめよう」母の友1962.1.
 「校長の指導力」学校経営研究1962.4. 第1号
 「参観者の批判、参観者への批判」現代教育科学1962.6.
 「教師の長所と短所（1）『濁った眼』」教育文化1962.7. 同（2）『教師の身勝手』1962.8.
 同（3）『教師の思考形式（その1）』1962.9. 同（4）『教師の思考の形式（その2）』1962.10.
 同（5）『教師の思考の形式（その3）』1962.11. 同（6）『教師の手紙』1962.12.
 「現代っ子について」小2教育技術1962.12.
 「学校教育の本質」中国新聞1963.1.3. 山形新聞1.4. 信濃毎日新聞1.5. 長崎新聞1.6. 高知新聞1.13.
 「教師の長所と短所（7）『驚くことのできる教師』」教育文化1963.1. 「教師による教育研究の意義」現代教育科学1963.2.
 「言葉の教育」放送文化1963.2.
 「教師の長所と短所（8）『10月26日の記』」教育文化1963.2. 同（9）『実践者の方向』1963.3.
 「教師の教材解釈」現代教育科学1963.5.
 座談会「この1年の実践で得たもの」小4教育技術1964.3.
 「校長は何をしているのか」教育の時代1964.4.

- 「授業の共同研究『無着成恭士氏の文学の授業をめぐって』」教育 1964.4.
「授業の共同研究『遠藤豊氏の理科の授業を巡って』」教育 1964.9.
「わたしが授業参観をするとき」小2 教育技術 1964.10.
「教科の指導と感性の役割」教育 1964.11.
「おかしいではないか(1)」教育文化 1964.12. 同(2) 1965.1.2, 同(3) 1965.3. 同(4) 1965.4, 同(5) 1965.5.
「学校集団の新しい伝統とは何か」学校運営研究 1965.1.
「中学教師への提言」中学教育 1965.1.
「現代教育批判(1) テスト主義」現代教育科学 1965.4. 同(2)「人間像」1965.5.
「現代教育批判(3) なぜマージャン教師となるか」現代教育科学 1965.6 同(4)「子どもの犠牲」1965.7.
「おかしいではないか(6)」教育文化 1965.6. 同(7) 1965.7~8 合併 同(8) 1965.9 同(9) 1965.10.
「現代教育批判(5) 指揮者・演出者の不在」現代教育科学 1965.8 同(6)「自主性の否定」1965.9.
「現代教育批判(7) 教科書の統制」現代教育科学 1965.10 同(8)「三つの仕事を」1965.11.
「具体的な授業案を」授業研究 1965.10.
「おかしいではないか(10)」教育文化 1965.11. 同(11) 1965.12.
「現代教育批判(9) 教育は事務ではない」現代教育科学 1965.12. 同(10)「学校教育の単純化」1966.1.
「固定観念」保育の友 1966.1.
「現代教育批判(11)」現代教育科学 1966.2. 同(12)「真実をみる目」1966.3.
「常識の打破」教育 1966.2.
「創造性を求める教育」総合教育技術 1966.2.
「細い道、曲がった道」小4 教育技術 1966.5.
座談「困難・発見・創造」小4 教育技術 1966.6.
「斎藤喜博対談(1)」教育 1966.6. 同(2) 教育 66.7. 同(3) 教育 66.8. 同(4) 教育 66.9. 同(5) 教育 66.10.
同(6) 教育 66.11. 同(7) 教育 66.12. 同(8) 67.2. 同(9) 67.3.
「今日の教師と授業」教育 1966.11.
座談会「現代の学力観をめぐって」教育技術 1966.12. 合併
「授業の共同研究『宮崎典男氏の授業をめぐって』」教育 1966.12.
「別の世界から育つもの」展望 1967.1.
「本と私」サンケイ新聞 1967.2.25.
「否定的な『しるし』と主体的な『しるし』」教育 1967.4.
「人間性を喪失させるもの」刑政 1967.5.
「新教育20年に思う」朝日新聞 1967.5.19.
「婦人教師の力量」婦人教師 1967.6.
「情操を養う教師の条件」児童心理 1967.8.
「実践記録のおもしろさとつまらなさ」小1 教育技術 1967.8.
「裂かれている悲しみ」日本読書新聞 1967.8.28.
「実践の重み」保育 1967.9.
「教師集団による学校づくりと婦人教師」婦人教師 1967.10.
「専門家としての教師」保育 1967.10.
「実践者でない教師」保育 1967.11.
「子どもを変革する授業」婦人教師 1968.5.

- 座談会「揺れる社会の教師像」朝日新聞 1968.6.18.
 「私のなかの 8 月 15 日」婦人教師 1968.8.
 「教材を読みとる力」小 1 教育技術 1968.9.
 「若き教師に望む」教育学全集第 13 卷月報 1968.10.
 「わが人生体験と意志の力」総合教育技術 1968.11.
 「教師の指導力」体育科学教育 1968.11.
 「授業の共同研究『神保俊子さんの授業を巡って』」教育 1968.12.
 「怒りより悲しみを」児童心理 1969.2.
 「教授の基本（上）」婦人教師 1969.2. 「同（下）」婦人教師 1969.3.
 「学習塾」農業共済新聞 1969.3.5.
 「わたしの生きがい」総合教育技術 1969.5.
 「K 先生・三浦環」朝日新聞 1969.5.20.
 「授業は創造するもの」サイエンス 1969.6.
 「子どもの手伝い」農業共済新聞 1969.6.18.
 「夏休みの子ども」農業共済新聞 1969.7.9.
 「教育と演劇」群馬中芸 1969.9.1.
 「女教師論」朝日新聞 1969.9.9.
 「創造的な家庭づくりへの学校や教師の協力」児童心理 1969.10.
 「礎石のひとつでも」教育 1969.10.
 「滅びるだけの生活文化」農業共済新聞 1969.10.8.
 「消費文化」農業共済新聞 1969.12.10.
 「スポーツマン」体育科教育 1970.1.
 「自然との対話」まみず 1970.1. NHKラジオ放送原稿 10.27,28,29.
 「団体の主張を職場に持ち込むな」日本教育新聞 1970.1.29.
 「鮮明な輪郭を持った人間」朝日新聞 1970.2.10.
 「教師こそ創造的研究者に」日本教育新聞 1970.2.21.
 「小学校教科担任制への疑問」日本教育新聞 1970.3.7.
 「実践なきニセ教育学者」朝日新聞 1970.3.10.
 「年度末の悔恨」日本教育新聞 1970.3.21.
 「性教育こう思う」1970.3.23.
 「『私は』と言える強さを」日本教育新聞 1970.4.1.
 「形式的な仕事は捨てよう」日本教育新聞 1970.4.14.
 「若い教師を育てよう」日本教育新聞 1970.4.23.
 「大人への学校開放は疑問」朝日新聞 1970.4.28.
 座談会「1 年生入門期の授業」小 1 教育技術 1970.5.
 対談「教育実践とは何か（川上武氏と）」看護学雑誌 1970.5.
 「さまよう哀れな民」展望 1970.6.
 「いたましいウオーウオー」朝日新聞 1970.7.14.
 座談会「教育裁判と教育権」教育 1970.8.
 「みみっちい通知簿代徴収」朝日新聞 1970.8.18.

- 「愛国心と教育（インタビュー）」読売新聞社—愛国心について 1970.8.30.
てい談「日本の教育を考える（むのたけし氏・佐藤忠男氏と）—東芝技法研究会 1970.9.1.
「子どもの敵となっている教師」朝日新聞 1970.9.15.
「土をより大事に」農業共済新聞 1970.10.14.
「教育害する逆立ちした考え」 1970.10.20.
「子どもの可能性を求めて」小3教育技術 1970.12.
「一般論が多すぎる教師」朝日新聞 1970.12.15.
座談会「教育実践の創造（東洋氏・藤田恭平氏と）」小5教育技術 1971.1.
「校長のあるべき姿」信濃毎日新聞 1971.2.19.
「実践者としての教師」展望 1971.3.
「新しい事実をつくり出す喜び」総合教育技術 1971.4.
座談会「授業研究の課題と問題」小3教育技術 1971.4.
「教育は常識にそむく」展望 1971.6.
『アフリカのたいこ』の授業への私の感想 小3教育技術 1971.6.
座談会「戦後教育の森総点検（村松喬氏・遠山啓氏・無着成恭氏と）」望星 1971.6~7.合併号
座談会「これからの教師と教育（東洋氏・加藤地三氏と）」教育展望 1971.7.
『開く』斎藤喜博の個人雑誌創刊のことは 明治図書 1971.10
金子直一と対談「ほんとうデモ・シカ教師とは」（開く第三集）明治図書 1973
「報道インタビュー『この人にきく』」東北放送 1974.12.
「授業・人間について」東海大学出版会（望星）1975.1.
「教授学ゼミの意味」明治図書 1977.9
.時の講話 1977 斎藤喜博 『開く』30集 1982
対談「子どもの事実—教育の意味」筑摩書房（林竹二）1978.6.20.
NHK 総合テレビ「教える—斎藤喜博の教育行脚」1978.3.
「寂かな授業」斎藤喜博 事実と創造 第3号 1981.8.
「子どもから学ぶ」斎藤喜博 事実と創造 第4号 1981.9.
「オペレッタ台本 子供の世界だ」斎藤喜博 事実と創造 第5号 1981.10.
「学校の組織と機能」斎藤喜博 事実と創造 第6号 1981.11.
「子どもの可能性（1）」斎藤喜博 事実と創造 第8号 1982.1 同（2）第9号、同（3）だい.10号 1982.3.
「学生との対話（1）」斎藤喜博 事実と創造 第11号 1982.4 同（2）第12号 同（3）第13号 1982.6..
「教育における技術と技能（1）」斎藤喜博 事実と創造 第14号 1982.7. 同（2）第15号 1982.8 同（3）第16号 1982.9..
「教育への賛歌（1）」斎藤喜博 事実と創造 第17号 1982.10. 同（2）、同（3）、同（4）1983.1.
『見える』ということ（上）斎藤喜博 事実と創造 第21号 1983.2. 同（下）第22号 1983.3.
「授業の本質（1）」斎藤喜博 事実と創造 第23号 1983.4. 同（2）第24号、同（3）第25号、同（4）26号 1983.7.
「教授学ゼミの可能性を求めて」箱石泰和 事実と創造 第26号 1983.7.
「介入授業について（1）」斎藤喜博 事実と創造 第27号 1983.8. 同（2）第28号、同（3）第29号 1983.10.
「模擬授業の分析と討議（1）」斎藤喜博 事実と創造 第30号 1983.11. 同（2）第31号、同（3）第32号、同（4）第33号
「子どもの事実に立つて（1）」斎藤喜博 事実と創造 第34号 1984.3 同（2）.（3）（4）（5）第35号~第38号 1984.4~1984.7.
『開かきや----』の模擬授業（1）斎藤喜博 事実と創造 第39号 1984.8. 同（2）（3）（4）第40号~第42号 1984.9~1984.11.
『最後の授業』の検討 斎藤喜博 事実と創造 第43号 1984.12.

- 『はな』の授業 斎藤喜博 事実と創造 第44号 1985.1.
 「大造じいさんとがん」 斎藤喜博 事実と創造 第45号 1985.2.
 『あめだま』の授業とその検討 斎藤喜博 事実と創造 第46号 1985.3.
 『コマ』の組織学習 斎藤喜博 事実と創造 第48号 1985.5. 同第49号 1985.6. 同第50号 1985.7.

Ⅲ 斎藤喜博関連主要文献（除く本人執筆分）

Ⅲ—1 単行本類

- 「島村郷土誌」 田島瑞穂編 島村役場 1910
 「玉村小学校百八年史」 同小創立百八年記念実行委員会編集 群馬県佐波郡玉村町玉村小学校発行 1962
 「島小で芽をふく子ども」 赤坂里子著 明治図書 1967
 「境風土記」 しの木弘明著 境町地方史研究会発行 1969
 「真の授業者をめざして」 武田常夫著 国土社 現代教育101選 1990（国土新書1971）
 「わたしの学校づくり」 氷上正 国土社 1972
 「島小学校百年史」 島小百年史編集委員会・開校百年記念事業実行委員会編集発行 1972
 「斎藤喜博の歌と人間」 氷上正 国土社 1974
 「授業と学校づくり」 山口博人 一莖書房 1978
 「斎藤喜博の体育授業の論理—私の体育授業やまから」 小林篤著 一莖書房 1978
 「利根川と蚕の村」 金子統一郎著 上毛新聞社 1979
 「第Ⅱ期教授学研究 全4巻」 共編者は研究Ⅰ全10巻に同じ 国土社 1981～1984
 「斎藤喜博と授業の創造」 教授学研究の会編 国土社 1982
 「斎藤喜博と美術教育」 上野省策編解説 一莖書房 1984
 「島村教会百年史」 日本基督教団島村教会 私家版 1987
 「島村蚕種業者の洋行日記」 湯浅正彦編 境町史資料書第4集（歴史編）1988
 「斎藤喜博抄」 武田常夫著 筑摩書房 1989
 「斎藤喜博研究—ケノクニ共同研究」 斎藤喜博研究会 一莖書房 1990
 「斎藤喜博研究」 第1号～第10号 北海道教授学研究の会・笠原肇編 童書房 1990～9
 「評伝 斎藤喜博—生き方と仕事」 笠原肇著 一莖書房 1991
 「境町史」 第1巻 自然編、第2巻 民俗編 第3巻 歴史編上 第4巻 歴史編下 1991～1997
 別巻 目で見る境町の歩み
 「林竹二・斎藤喜博に学んで」 安里盛市著 一莖書房 1992
 「林竹二と斎藤喜博」 横須賀薫 宮城教育大学同窓会叢書 第2集 1993.8.
 「斎藤喜博の仕事と夢」 本間明信著 明治図書 1994
 「島小研究報告」 全6巻 復刻版 横須賀薫監修 大空社 1995 但し第6巻は「島小11年史」金子緯一郎編
 別巻 解説・随想・論説 横須賀薫、金子緯一郎、岡芹忍、赤坂里子、笠原肇他執筆
 「教育実践史上における島小の意義」 横須賀薫 島小研究報告別巻解説 1995
 「斎藤喜博 人と仕事」 横須賀薫著 国土社 1997
 「わたしの校長奮闘記—斎藤喜博に魅せられて」 山内宣治 一莖書房 2000
 「歌人 斎藤喜博」 監物昌美著 一莖書房 2003
 「島村郷土史年表」 栗原知彦編（境島村公民館作成） 2005

「斎藤喜博教育思想の研究」増田翼 ミネルヴァ書房2011

Ⅲ—2 機関紙・季刊誌等掲載文献

共同研究「学校管理と校長のリーダーシップをめぐって—斎藤喜博著『学校づくりの記』をめぐって」蠟山政道

澤田慶輔、関野豊三、伊藤秀夫、三井為友 教育技術 1959.12.

「未来につながる教室—群馬県島小学校」『厳肅な縄渡り』大江健三郎 文春文庫 1962.7.

「教育実践における地域の問題」横須賀薫 国民教育研究 第47号 1968.9.

「弔辞」横須賀薫 事実と創造 第5号 1981.10.

「特集 斎藤喜博—その人と仕事に学ぶ」総合教育技術 1981.10. 執筆者：土屋文明・林竹二・杉浦明平・平井信義・川島浩・上野省策・近藤芳実・中野光・丸岡秀子・金井朝忠・斎藤喜博（短歌）・本誌編集部・横須賀薫・斎藤喜博（再録）・近藤幹雄・武田常夫・新田貴代・山口博人・田村省三・笠原肇・細田昌子・箱石泰和・氷上正.

「玉村のお宅で教えられたこと」根田幸悦・斎宮久子・今井房子・斉藤利春・竹内暁雄・小松田克彦・露木和男
有賀政夫・石原進・いさ子 事実と創造 第6号 1981.11.

「公開研究校の教師として」矢鋪義金・山本建明・内海輝平・堀江優・松本香代子・小西市太郎・賀谷正文
小畑志郎 事実と創造 第6号 1981.11.

「大学での授業を受けて」守谷弘枝・三塚寿江・宮本成子・高内彩知子・森田崇子 事実と創造 第6号 1981.11.

「斎藤喜博の遺産をどう継承するか」斎藤征夫・箱石泰和・山本文郎 事実と創造 第11号 1982.4.

「幻想の島小」高橋金三郎 事実と創造 第12巻 1982.5.

「木下竹次と斎藤喜博」小林篤 事実と創造 第12巻 1982.5.

「斎藤喜博先生から学んだ発声」岸みね子 事実と創造 第18号 1982.11.

「斎藤文代氏の逝去を悼む」（弔辞）松本陽一、吉田静江、（追悼文）武田常夫 事実と創造 第18号 1982.11.

「斎藤喜博の学校づくりに学ぶ」佐藤次郎・小林一之・花福福太郎・山口博人・前田秋信 事実と創造第22号 1983.3

「“学校づくり”の追求」横須賀薫 事実と創造 第24号 1983.5.

「玉村に学んで」松本陽一 事実と創造 第25号 1983.6.

「島小・境小教育の源流」塚本幸男 事実と創造 第30号 1983.11.

「斎藤喜博の生きざま、死にざま」（追悼文）笠原肇 事実と創造 第32号 1984.1.

「座談会・島小での実践を語る（1）島小での教師としての成長」武田常夫ほか 事実と創造 第33号 1984.2.

「人間・斎藤喜博を語る—川島環・大槻志津江・岸みね子・井上勝代・栃内礼子・野村新 事実と創造 第37号 1984.6.

「座談会・島小での実践を語る（2）島小での授業と教材解釈」武田常夫・久保田和子・川島環・岡芹忍
司会 松平信久 事実と創造 第38号 1984.7.

「教授学を考える」横須賀薫 事実と創造 第44号 1985.1.

「利根川の歴史と文化（1）（2）（3）（4）」川名登 事実と創造 第47,48,49,50号 1985.4,5,6,7.

『教授学研究の会』留別の講演—林竹二先生のこと」松本陽一 事実と創造 第65号 1986.10.

「追悼特集/武田常夫先生をしのぶ」弔辞：横須賀薫 以下「追悼特集/武田常夫先生をしのぶ」. 弔辞：横須賀薫 以下：大槻志津江・岸みね子・根田幸悦・川島浩・照屋美和子・栃内礼子・武田弘子・石沼徳郎 事実と創造 第70号 1987.3.

「境小こぼれ話（1）～（5）」大槻志津江・田中セツ（3のみ） 事実と創造 第85～89号 1988.6,7,8,9,10.

「島小叱らればなし」川島環 事実と創造 第98～111号 1989.7.～1990.8.

「選歌と歌会の教育思想」横須賀薫 事実と創造 第104,116号 1990.1 1991.1.

- 「斎藤喜博研究—ケノクニ共同研究」ケノクニ発行所内斎藤喜博研究会 ケノクニ発行所 1990.12.
- 「斎藤喜博の授業論の背景と性格」横須賀薫 事実と創造 第129号 1992.2.
- 「斎藤喜博と座談(1) 第3日曜の会補講」構成 松本陽一 事実と創造 第130号 1992.3.
- 「斎藤喜博における教授学—1人称における授業記録の意味を中心に」横須賀薫 事実と創造 第140号 1993.1.
- 「斎藤喜博の湊川高校における音楽の授業」福島敬三 事実と創造 140号 1993.1.
- 「斎藤の教師としての成長の軌跡のあとづけ」松平信久 事実と創造 第150号 1993.11.
- 「島小 赤坂学級文集(解説)」横須賀薫 事実と創造 第159号 1994.8.
- 「教授学の原点としての島小の授業」横須賀薫 第164号 1995.1
- 「初任期・青年期教師時代の斎藤喜博のあゆみ」松平信久 事実と創造 第171号 1995.8.
- 「戦前期における斎藤喜博の教育実践の形成と大正新教育の影響」野瀬薫 教育学研究 第62巻4号 1995
- 「斎藤喜博と私(1) 金子緯一郎 事実と創造 176号 1996.1. 同(2) 岸みね子 177号、同(3) 赤坂里子 178号
同(4) 高橋元彦 179号、同(5) 青山園江 180号、同(6) 井上勝代 181号、同(7) 田中せつ 182号、
同(8) 小林可也 183号、同(9) 越川栄子 184号、同(10) 大槻志津江 185号、
同(11) 小松田克彦 186号、同(12) 田中順子 187号 1996.12.
- 「いま、なぜ『斎藤喜博』か」横須賀薫 事実と創造 第184号 1996.9.
- 「組合員としての斎藤喜博」越知和彦 事実と創造 第190号 1997.3.
- 「斎藤喜博における短歌と教育」『土屋文明と斎藤喜博』横須賀薫 群馬県立土屋文明記念文学館 1999
- 「斎藤喜博の合唱における呼吸・発声の指導」梶山正人 事実と創造 第223号 1999.12.
- 「斎藤喜博の人と仕事(1)(2)」山内宣治 事実と創造 第248~249号 2002.2.~2002.3.

IV 主要文献紹介—斎藤喜博を知るため筆者が選んだもの

- (1) 「可能性に生きる」斎藤喜博全集(以下全集と表記) 12巻
師範時代から教員時代の活動の全貌が分かる。「特集 斎藤喜博—その人と仕事に学ぶ」総合教育技術 1981.10.(小学館)は、知人が書いた斎藤の人と仕事への回想。
- (2) 「学校づくりの記」全集 11巻
最初に校長として赴任した島小での実践記録。但し内容が自分自身に甘い憾みがある。
- (3) 「授業入門」「授業」「授業の展開」全集 4巻、5巻、6巻
授業三部作。斎藤は授業名人として知られ、授業を学校経営の核に据えた。
- (4) 「歌集・年譜 1971.7以前」全集 15—2巻「年譜 1971.8以後」第二期全集 12巻
年譜は記録魔斎藤に相応しく詳細。経歴と活動の実態が分かる。歌集は心の投影。
- (5) 写真集 3冊:「未来誕生」一莖書房復刻版、「斎藤喜博の仕事」国土社、
「いのち、この美しきもの」筑摩書房 撮影:川島浩、文:斎藤喜博
一番目は島小、二番目は島小と境小(写真説明あり)、三番目は境小の記録。
- (6) 島小研究報告全 6巻と別巻解説(横須賀薫解説) 大空社復刻版
島小の先生方の実践報告集。第6巻「島小 11年史」金子緯一郎編は斎藤校長期の貴重かつ有用な資料。別巻解説は研究報告の内容と意義が分かる。

(7) 「斎藤喜博 人と仕事」横須賀薫著 国土社

著者は大学人として斎藤を最も理解し助けた学者。理論と実践を踏まえた書籍。

(8) 「斎藤喜博抄」武田常夫著 筑摩書房

斎藤の思い出随筆集。著者は島小、境小で斎藤の片腕として活躍。

(9) 「斎藤喜博教育思想の研究」増田翼著 ミネルヴァ書房

若い著者が博士論文に加筆した書物。引用文献と参考文献が極めて豊富で有用。

(10) 「事実と創造」一莖書房 1981年6月発刊以来の月刊誌

斎藤死去直前に創刊された月刊誌。斎藤の賛同者が主な執筆者。最近では斎藤の賛同者と弟子たちが主な執筆者。特に、古い年代の紙面は斎藤理解の資料が豊富。

久保田武 研究ノート：斎藤喜博をめぐる文献リストと主要文献解題 へのコメント

大野精一（日本教育大学院大学 学校教育研究科 教授）

何年か前に私自身が約 35 年にわたって書いてきた 400 前後の文章や論考を分野別・年代順に 30 ページ近くのリストとしてまとめたことがある。あらためて見なおすと、そのタイトはその内容の要約・象徴であったし、このリストをさしあげた方からも私の軌跡を描けるとのコメントをいただいた。文献リストとはそうした機能を有するものである。

私は私自身の文献リストをつくることにしても大変な作業であったが、これが著明な研究者・実践家で、しかも他者がつくとすると、さまざまな先行研究やヒントがあったとしても、想像を絶する時間を必要とする。本稿作成のご苦労を実感する。

本稿はこれから斎藤喜博を研究する者への導きの糸になるばかりでなく、彼の問題関心の有り様を総攬することで現代教育の課題を発見する一助にもなりうる。本稿所収の文献目録に即して例えば、「教師が教師になる（とき）」ためには、「教師として市民として」「学級の子どもと共に」「可能性に生きる」ことが重要であり、「個性のない優等生」ではなく「考えを熟させる」ことに重きを置き、「疑問を持たない先生」「一般論が多すぎる教師」として「子どもの敵となっている教師」になってはいけないのである。

教師を志すものにとって斎藤喜博はひとつの巨峰である。久保田教授が選び抜かれた「文献紹介—斎藤喜博を知るための 10 冊」を出発点として、「教師が教師になるとき」を見定めたいと思う。